

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.7.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.6.28 - 2019.7.31)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} ／保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	+100 m ³	①②	99 %	199600 / 252700 (79%)	・フランジタンク解体片 2019年7月末時点でコンテナ954基保管。 エリアP1 コンテナ数：653基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：301基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,900 m ³	+100 m ³	①③	99 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0 m ³	—	78 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	42,500 m ³	0 m ³	—	83 %		
		P1	屋外集積	0.01未満	51,200 m ³	-100 m ³	①	80 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100 %		
		V	屋外集積	0.01	4,800 m ³	0 m ³	—	80 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	9,900 m ³	+300 m ³	①	27 %	38600 / 71000 (54%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)	
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—			58 %
		E1	シート養生	0.02	14,200 m ³	微増 m ³	④			89 %
		P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	微増 m ³	④⑤			63 %
		W	シート養生	0.03	8,200 m ³	+100 m ³	①④			28 %
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	X	シート養生	0.01	7,900 m ³	0 m ³	—	65 %	18100 / 31700 (57%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m ³ ）増加。 (2018年5月)
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100 %		
		A	仮設保管設備	0.14	900 m ³	-100 m ³	⑤	13 %		
		E2	容器 ^{※4}	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	31 %		
		F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	Q	容器	0.04	0 m ³	0 m ³	—	0 %	17300 / 45600 (38%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m ³ ）増加。 (2018年2月)
		固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	17,300 m ³	+400 m ³	①④⑤	38 %		
合計（ガレキ）				273,600 m ³	+900 m ³	m ³	—	68 %		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0 m ³	—	63 %	96800 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	0 m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %		
合計（伐採木）				134,100 m ³	0 m ³	m ³	—	76 %		
保護衣	屋外集積	容器	0.04	57,100 m ³	+900 m ³	m ³	⑥	84 %	57100 / 68300 (84%)	・使用済保護衣等焼却量 5553t (2019年7月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1398本 (2019年7月末累積)
合計（使用済保護衣等）				57,100 m ³	+900 m ³	m ³	—	84 %		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物 ③敷地造成関連工事 ④エリア整理のための移動 ⑤1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事
⑥使用済み保護衣等の受入

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

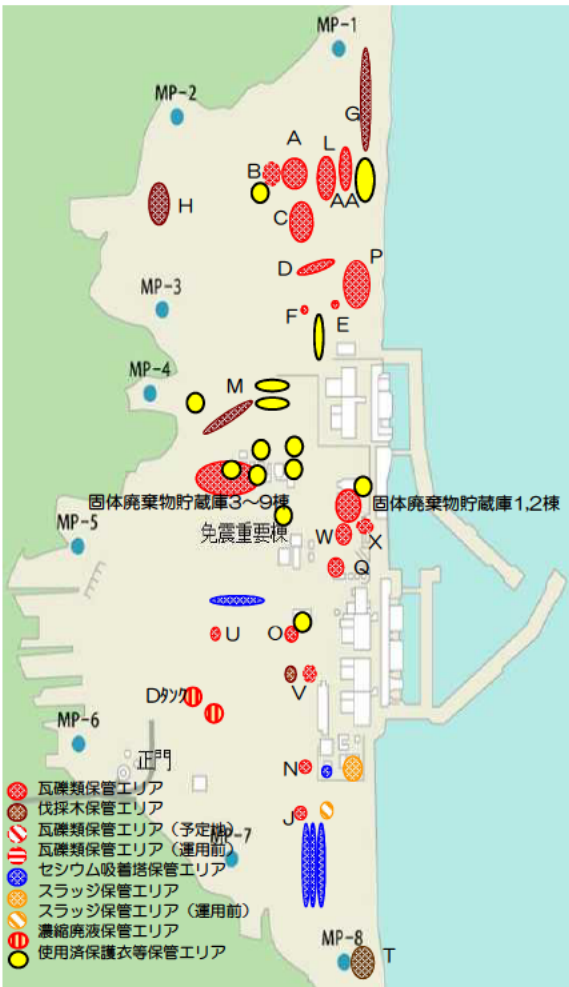
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.8.1時点)

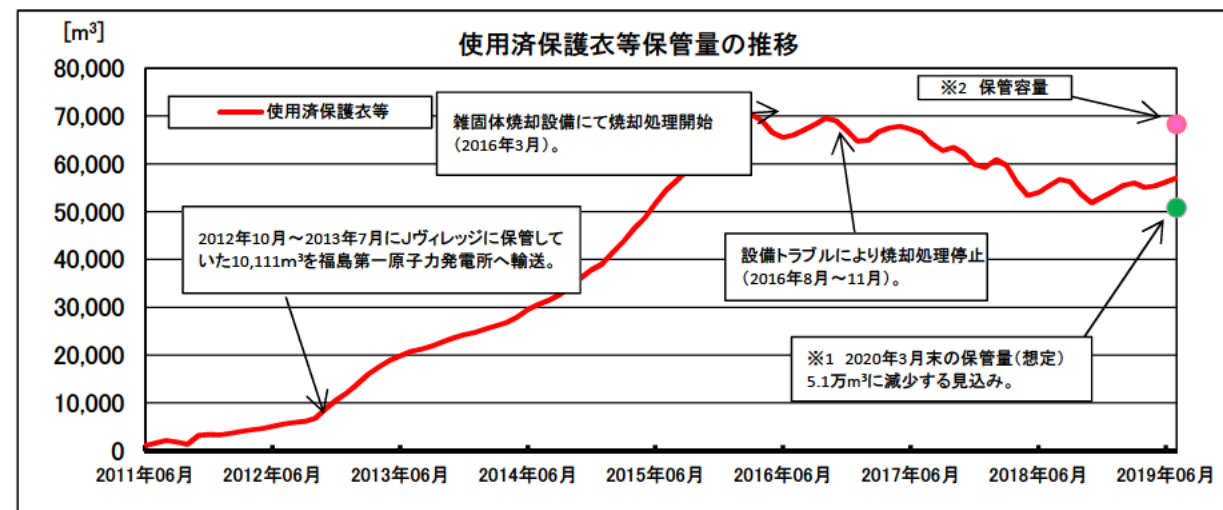
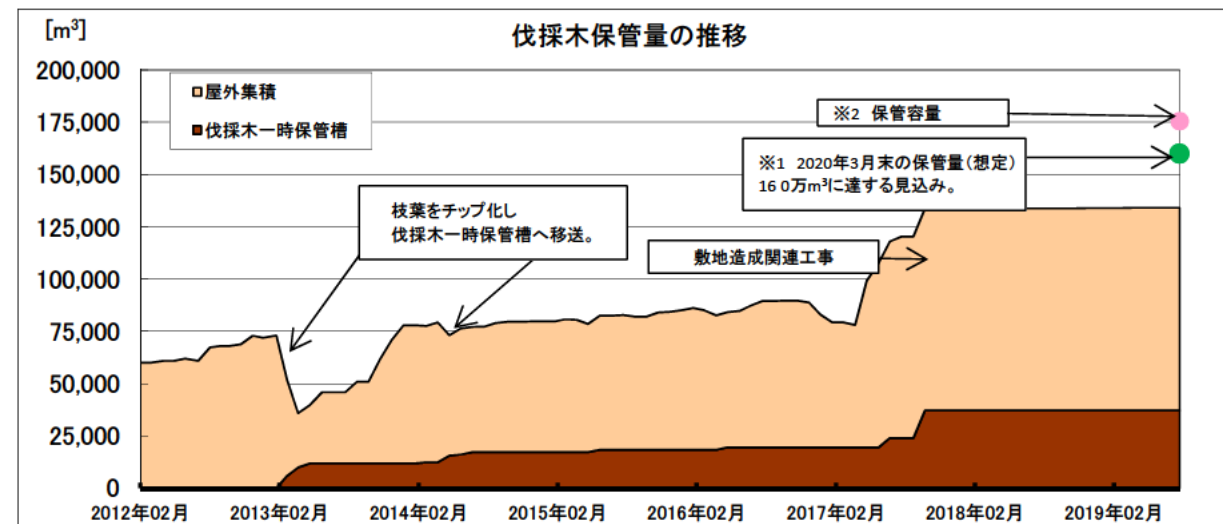
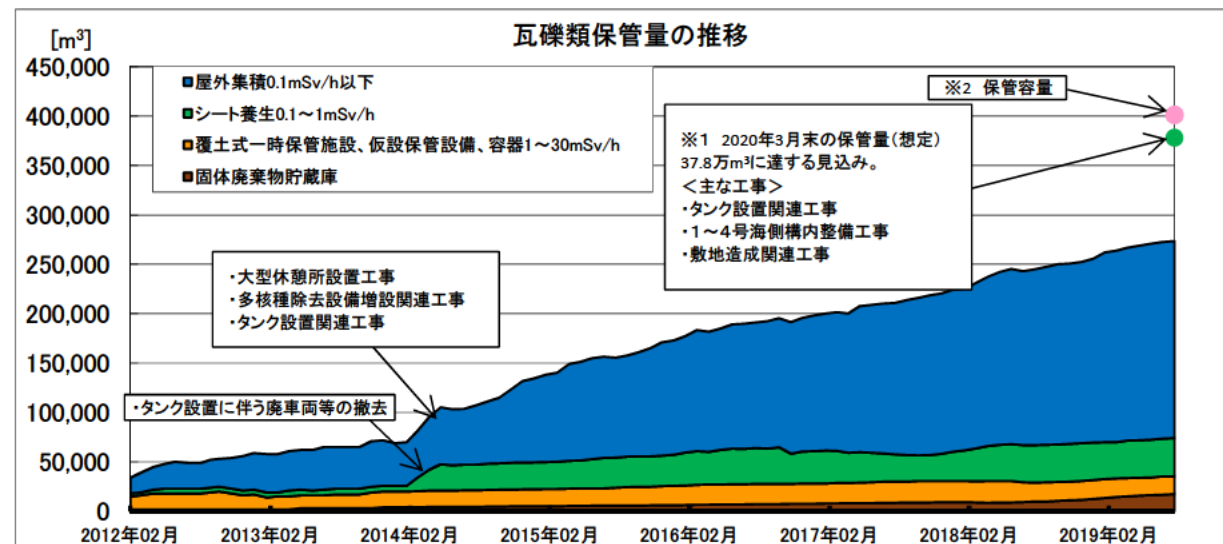
分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 (2019.7.4 - 2019.8.1)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	+4 本	4448 / 6372 (70%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	220 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,637 ^{※1} 基		
			増設	1,520 ^{※2} 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能 74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	既設 11 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	207 本	+1 本		
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,392 m ³	+28 m ³	9392 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場/パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9292 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。 【正】1,637基 【誤】1,620基（2020.3.4）

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。 【正】1,520基 【誤】1,537基（2020.3.4）



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.7.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.8.1時点)

